

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	配給水管漏水調査				継続				
コード	77	-	23	-	01	-	00	予算事業名	漏水防止事業
担当部署	事業推進部		給水課		維持担当		予算事業コード	会計 01 款 02 項 10 目 20	

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	水道法
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	なし
施策	2	水道水の安定供給		
細施策	1	施設・設備の改修及び更新		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	漏水を早期に発見し修繕することにより有収率の向上を図ると共に、水資源の有効活用を図るため、計画的な漏水調査を行ないます。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	漏水調査は、市内全域を2年で一巡するよう調査地区を設定し、水道本管から各戸のメーターまでの給水装置について、戸別音聴調査を行ないます。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		25,157	21,495	25,162	27,647	33,788	
事業費	A	25,157	21,495	25,162	27,647	33,788	30,638
	B	7,030	7,030	7,030	7,030	7,030	7,030
総コスト(C=A+B)		32,187	28,525	32,192	34,677	40,818	37,668
正規職員(1年間の従事人数)		0.95人	0.95人	0.95人	0.95人	0.95人	0.95人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		32,187	28,525	32,192	34,677	40,818	37,668

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	漏水の発見	箇所	423	243	426	284	漏水調査によって年間に発見された漏水の件数
成果	漏水の発見率	%	0.63	0.51	0.61	0.45	年間漏水調査の発見率
活動	漏水調査戸数	戸	66,700	48,000	69,600	63,000	年間漏水調査戸数
中心指標の考え方		本事業は、成果指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		漏水調査による漏水の発見は、有収率向上の一端を担っており、継続的な活動が必要であり、漏水の早期発見に努めていきたい。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題
現在の漏水調査方法より、さらに効果的な調査方法を検討していく必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
他市においても同様な漏水調査業務を行っています。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
漏水は地上に流出し発見されたものはその都度早急に修理していますが、地下に浸透し潜在してしまう漏水は発見されることなく放置されてしまいます。給水している水道水が無駄になり、有収率の低下など水道事業の経営に影響を及ぼすほか、道路陥没など二次災害の原因になりますので、継続的な調査が必要です。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
漏水調査を継続的に実施し、漏水の早期発見修理を行うことにより、無収水量の減少を目指す。	